



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第480号

2020年11月9日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

「小中一貫校」設立を強行する市教育委員会

八千代市教育委員会は6月27日、阿蘇中学校で「阿蘇・米本地域の小中一貫校」の説明会を開催しましたが、米本団地での説明会の開催要求には応じようとはしていません。

阿蘇中学校の校舎で、「小学生と中学生と一緒に学習や生活ができるのか」「米本団地から小学校がなくなってしまう」など、保護者の不安の声には、まともに答えようとはしていません。この大きな問題が解決していないのに、市教育委員会は令和4年4月の開校を目指して「設立準備委員会」を強行したのです。

コロナ禍のなか、「すし詰め」放置でいいのか

設立準備委員会は、A「学校運営部会」、B「教育環境部会」、C「通学安全部会」、D「保護者地域部会」に分かれて協議しています。

教育環境部会で校舎配置図（裏面に掲載）が示されましたが、余裕教室がほとんどなく、まさに「すし詰め」状態です。

「4年と8年生（中2）と9年生（中3）が横並びで、小学生と中学生が同じフロアで生活することができるのか。」「中学3年生の受験に差しさわりがあるのでは」と心配の声が寄せられています。

さらに、生徒会室（児童会室）もなく子どもたちが自治を学ぶ場がありません。これは、「小中一貫校」の理念だけを振りかざして保護者に押し付け、特にコロナ禍のなかで、少人数学級をどう実現するのかなどについて、徹底的な議論や話し合いが行なわれなかったことが原因です。

学童保育をどこで行うのかも未解決

また、放課後の学童保育や放課後子ども教室の問題もクリアできていません。米本小・米本南小に子どもを預けている保護者は、米本南小に学童を残してほしいと要望しています。団地に小学校があれば通学支援バスに乗らなくても通うことができます。

そもそも「増改築の8億円の予算がない」と一度は「施設一体型一貫校」を断念したのに、強行に方針を変えたことが大問題です。



地域を壊す統廃合は中止すべき

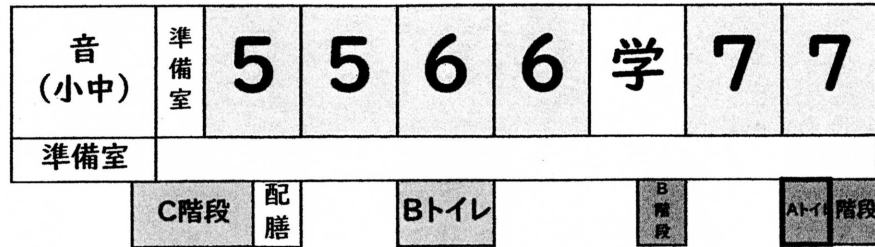
今、教育委員会がやるべきことは、コロナ禍のなかで子どもたちの安心・安全のためにも、教育環境を最優先に考えるべきであり、同時に、地域を壊す「統廃合」計画を中止すべきです。

日本共産党は、米本団地の小学校と阿蘇小学校の存続のために、最後まで地域の皆さんと一緒に頑張ります。

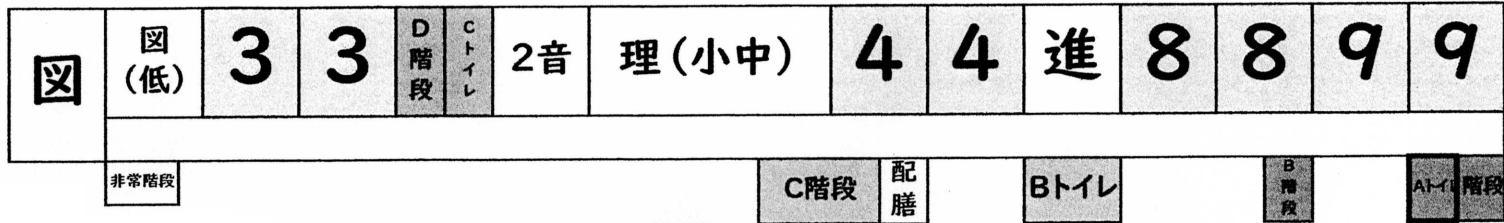
裏面に資料→

資料) 阿蘇・米本地域義務教育学校 校舎配置案 令和2年10月23日(金) 18:30

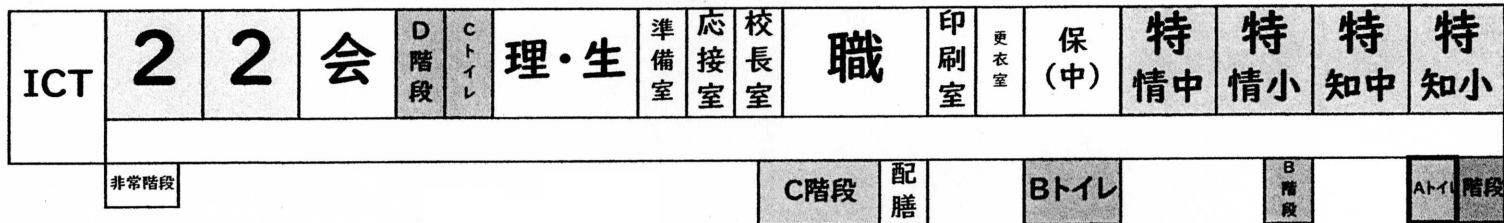
4階



3階



2階



1階

